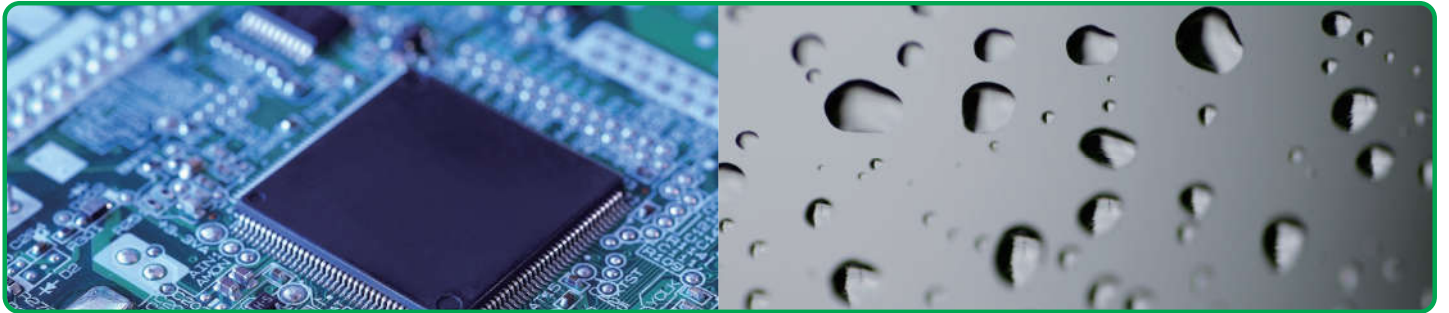




防水・防塵対策だけでは、結露による故障から 電気機器を守ることはできません。



夏に冷たい飲み物のコップ表面に水滴が着いたり、寒い屋外から暖かい部屋に入った際にメガネが曇ってしまうなど、結露は温度差によって季節を問わず発生します。特に防水対策のために密封された電気機器は、周囲との温度変動差で内部に結露が発生し、絶縁不良や錆による故障や漏電火災の危険もあるため、安全のための対策は必須です。NTT-ATの結露防止シート G-ブレスは、調湿特性にすぐれた特殊な材料^{※1}が結露を防ぎ、トラブルを未然に防止する設備保全アイテムで、電力を必要せず、RoHS指令にも適合する環境にやさしいエコロジー製品です。

POINT
1

驚異の調湿機能で 結露をシャットアウト!

調湿にすぐれた特殊材料^{※1}が湿気を吸放湿することで一定の湿度を維持し、結露を防止します。屋外試験(下図)ではG-ブレス無の箱内湿度(青線)が外気湿度(緑線)と同じ変化なのに対し、G-ブレス有(赤線)は、常に一定範囲の湿度を維持しています。

POINT
2

高寿命& メンテナンスフリー

従来の防湿剤は一定量の水分を吸収後、性能が低下するのに対し、G-ブレスは“呼吸”することで適正湿度を保つため、長期間^{※2}性能を維持します。また電力不要な上に商品施工後のメンテナンスも不要で、管理の手間やコストも低減します。

POINT
3

施工場所を問わない 高い汎用性

G-ブレスは薄く軽いシート状で、わずかなスペースでも設置できます。容積に合わせて4種類のサイズをご用意しています。

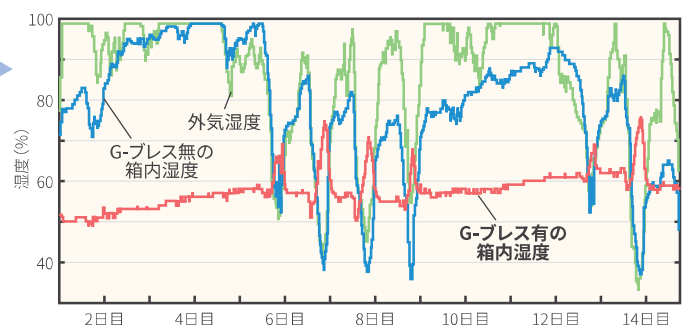


G-ブレス本体


G-ブレスの湿度測定試験結果

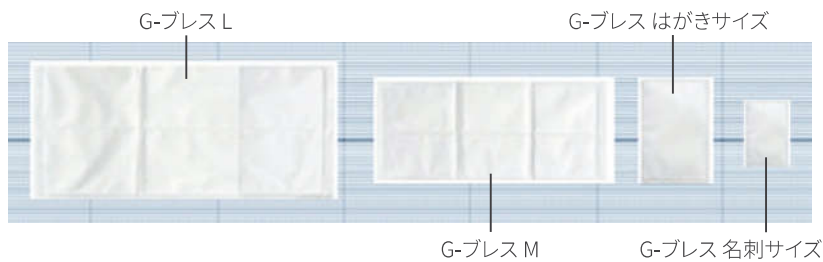
- 【測定条件】
- ・試験用の箱容積: 13.9リットル(底部にφ5mmの通気孔有)
 - ・蓋にG-ブレス(はがきサイズ)設置
 - ・測定場所: 東京都内
 - ・測定期間: 2週間

※1 シリカゲルよりも吸湿・放湿能力が高く、通信設備に導入するための長期信頼性試験に合格した材料。
 ※2 通信インフラ会社で約10年間にわたって性能を維持している実績があります。
 (使用可能期間は設置する筐体の構造や環境条件により変化します。)



サイズラインナップと施工例

NTTインフラ設備における結露故障対策として150万個以上の実績のある調湿材を、さらに機能UPさせたG-ブレスは、その高い調湿機能と長寿命で、多くのお客様からご支持いただいています。



通信専用端子盤へのG-ブレス施工例

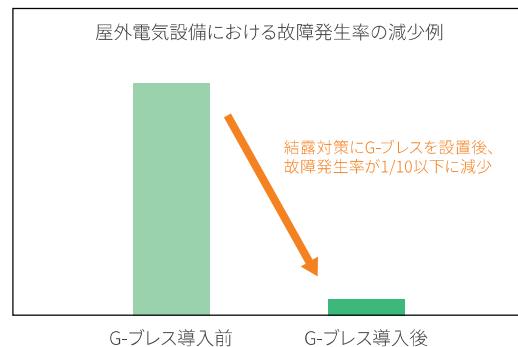
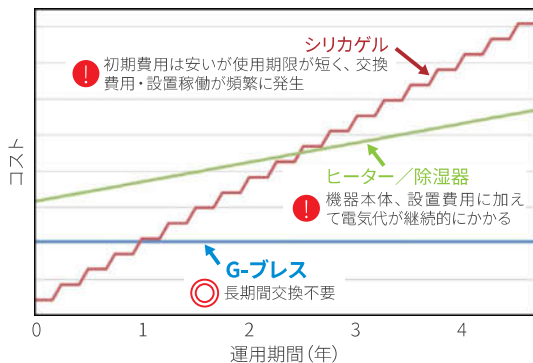
品名	サイズ(mm)	重さ(g)	適用容積(L)/枚*	販売単位(枚)
G-ブレス L	560×230×3	130	400	5枚
G-ブレス M	370×150×3	50	150	10枚
G-ブレス はがきサイズ	100×148×1	10	25	30枚
G-ブレス 名刺サイズ	55×91×1	3	7	30枚

※ 適用容積は環境条件により変化します。

●導入実績

IoT機器/NTT通信設備/ドアホン/配電盤/制御盤/製造装置
/レーザー/監視カメラ/船舶/モニタリングセンサー/光学機器
/M2M機器/建築設備/食品製造設備 他

他製品とのコスト比較と導入効果



※導入する設備の構造や環境条件によって効果は異なります。

適用例と使用上の注意

- ・電気機器内の結露による絶縁不良や絶縁劣化の防止対策に
- ・電力を必要とする空調機器が設置できない場所の結露対策に
- ・工場内の温湿度変動が大きい場所での結露対策に
- ・屋外に設置された収納庫や物置きなどの結露やカビ対策に
- ・容易に機器・設備の保守作業ができない場所の結露対策に
- ・設備機器の延命対策に
- ・湿気の影響を受けやすい楽器や美術品等の保管に
- ・その他、さまざまな場面でご利用いただけます。

【使用上の注意】

- ・本品を施工する箱に浸水のおそれがある場合は、その防止措置を施してからご使用ください。
- ・適用容積は密閉空間での使用目安です。環境条件により異なります。
- ・本品は機器類の故障防止を保证するものではありません。

●製造元

NTTアドバンステクノロジー株式会社

グローバル事業本部

製品URL→ <https://www.ntt-at.co.jp/product/g-breathe/>

※ 記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※ 本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。
※ カタログ記載内容 2019年7月現在

公式サイト
QRコード



●販売元

第百通信工業株式会社

本社: 〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-10

TEL: 03-6853-5801 FAX: 03-6853-5804

大阪: 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-1

TEL: 06-6261-8201 FAX: 06-6266-0932

<http://www.daihyaku.co.jp/>

Email: info@daihyaku.co.jp

詳細については販売代理店にお問い合わせ下さい。